

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2014年5月 相談集計報告

○全体の特徴

■昨年は5月27-28日に「働く女性の労働相談」（最終集計677件）を実施したため、前年と比較すると全体の件数は減少しているが、前月（1,220件）との比較では16件増加した。雇用形態別では前月と比べ、特にパートからの相談が31件、2.6%ポイント上昇した。

■相談内容では、「解雇・退職強要・契約打切」13.5%が最も多く、次いで「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」11.3%、「就業規則・雇用契約」6.5%となっている。業種別では、前月と比べ特に卸売・小売業が38件、約3%ポイント増加した。

■年代別では、前月と比べ50代からの相談が44件増となった。具体的な相談では「契約通りのシフトを組んでもらえず、親の介護と両立できない」「アルバイトを2つ掛け持ちしていたが、親の入院もあり1つ仕事を減らそうと思っている。しかし、人が足りないので辞めるなど言われ困っている」等、生活とのバランスを考えた働き方ができずに悩んでいる方の事例がみられた。

		2014年		2013年			
集計対象期間		5月1日～5月31日		5月1日～5月31日 （「働く女性の労働相談」件数含む）			
受付件数 （受付件数のみ報告分含）		1,236		1,731			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 （未報告除く）	男性	649	55.4%	男性	755	44.7%	
	女性	522	44.6%	女性	935	55.3%	
年代 （不明除く）	10代	11	1.2%	10代	3	0.2%	
	20代	124	13.1%	20代	154	12.1%	
	30代	201	21.2%	30代	336	26.3%	
	40代	328	34.6%	40代	431	33.8%	
	50代	197	20.8%	50代	233	18.2%	
	60代	81	8.5%	60代	113	8.8%	
	70代	7	0.7%	70代	7	0.5%	
雇用形態 （不明除く）	正社員	553	47.5%	正社員	824	52.8%	
	パート	173	14.9%	パート	262	16.8%	
	アルバイト	74	6.4%	アルバイト	74	4.7%	
	派遣社員	89	7.6%	派遣社員	87	5.6%	
	契約社員	136	11.7%	契約社員	129	8.3%	
	嘱託社員	15	1.3%	嘱託社員	13	0.8%	
	その他	124	10.7%	その他	172	11.0%	
業種(上位) （不明除く）	1位	サービス業	161	16.8%	サービス業	207	17.0%
	2位	医療、福祉	145	15.1%	医療、福祉	204	16.8%
	3位	製造業	137	14.3%	卸売・小売業	168	13.8%
	4位	卸売・小売業	125	13.0%	製造業	151	12.4%
	5位	運輸業	76	7.9%	運輸業	104	8.6%
相談内容(上位) （未報告除く）	1位	解雇・退職強要・契約打切	153	13.5%	解雇・退職強要・契約打切	245	14.2%
	2位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ※	128	11.3%	セクハラ・嫌がらせ	198	11.4%
	3位	就業規則・雇用契約	74	6.5%	就業規則・雇用契約	130	7.5%
	5位	退職金・退職手続き	67	5.9%	賃金未払い	119	6.9%
	5位	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	67	5.9%	不払い残業、休日手当・割増賃金未払い	109	6.3%

※6月から労働相談システムを改訂したため、相談項目の表記が昨年と異なります。